

全国ウォーキング大会 in 山古志 その一3 KWC編～3日目～

富岡製糸場 & アプトの道

めがね橋

9月28日(月) 伊香保温泉「ホテルきむら」8:40出発「物産館」前のコンビニで買物班バス内飲み物・おつまみ買物。9:33 渋川伊香保IC→10:05 富岡IC→【富岡製糸場】10:10～11:30



耳栓音声ガイド付で、ユーモアあふれる男のガイドさん↓



唯一工場内に入れます



【繰糸機】 300人取の繰糸機

建屋天井構造



ニッサンHR型自動繰糸機

1セットの大きさ：長さ32m、幅2.1m、高さ1.8m

自動繰糸機とは、煮た繭から目的の太さの生糸を繰糸する全行程を自動化した機械です。大幅に省力化されていて、人が行う作業は繰糸全体の管理・調整や枠の交換、また糸が節で詰まったり、切れたりしたものを直すのが主な作業となります。

「ニッサンHR型自動繰糸機」は昭和39年に開発された繰糸機で、富岡製糸場には昭和41年頃から順次設置され、途中新しい型へ改修されながら、昭和62年3月の操業停止まで稼働し続けました。同型の自動繰糸機は世界で現在も使われており、大規模工場の生産機としては最新型です。

この繰糸所内には、1セットで480本の糸を巻き取ることができるニッサンHR型自動繰糸機が10セット設置されています。 **2015/09/28**

昔の繰糸はハケで繭から取っていた



**繰糸場・東西繭倉庫・外国人宿舎
検査人館・ブリュナ館 等の建物
見学**



女工館

検査人館

糸巻機



絹糸の色々

蚕（本物です）

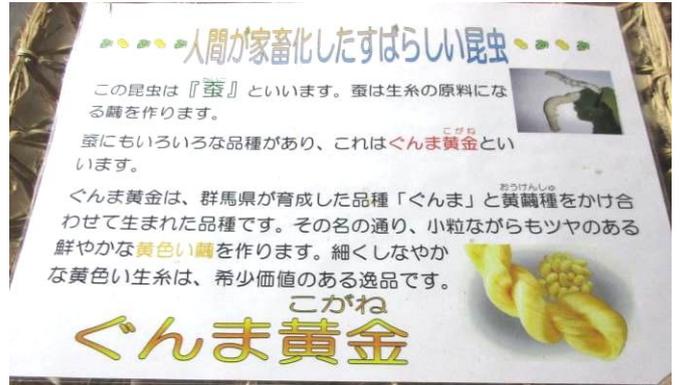


【富岡製糸場の歴史】 (HPから引用。戴いた資料にも写真を含め有ります)

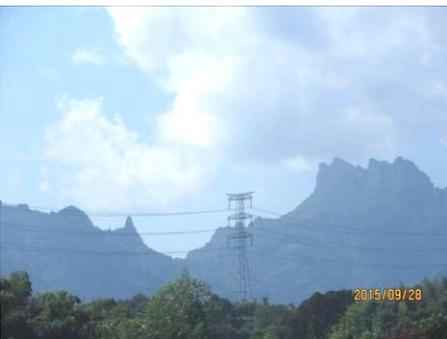
1872年明治政府が日本の近代化のために上州富岡製糸場を設立。1893年三井家に。
 1902年原合名会社。1938年(株)富岡製糸所。1939年片倉製糸紡績(株)に合併
 1987年操業停止。



錦絵「上州富岡製糸場」(明治5年)



富岡製糸場を出て、「峠の釜めし屋」に弁当をもらいに行くが、ここで昼食OKとのことで2階会食場に案内された。「おぎのや横川店」1Fで「胡麻くるみ御園 そばつゆ」と「野沢菜漬」を御土産に買う。好評でした。車窓から見える妙義山 OGINOYA「峠の釜めし」12:10~:12:4「釜めし」器は御持ち帰りOK



2015/09/28



2015/09/28



2015/09/28

【アプトの道】 13:00スタート 熊の平駐車場で佐藤伊さんによるストレッチ



2015/09/28

山の木々も黄色味が付いてきています



2015/09/28

スタートは石段登りです KWCこの位は慣れたもの

旧熊ノ平駅跡



熊ノ平は信越本線が通わなくなり、今はアプトの道折り返しポイント。トンネル10号から1号を潜ります。



最初の10号トンネルに入ります トネル内気持ち良い 出口のアーチとレンガ色模様芸術的です 山も輝く



碓氷線建設費は？

後続隊間が空きました！ トンネルを出るとこの風景 こんな小窓も

碓氷線建設にかかった費用は？
 明治26年に完成した碓氷線はかかった費用が、約200万円といわれています。今のお金に換算したら、はたしていくら？

明治から現代まで物価は3800倍になったといわれています。単純に計算できませんが、今の諸物価と比べてみると・明治20年（現在）かけそば一杯1銭(300円～400円) お米10キロ40銭(4,000円～) 理髪料5銭(2,500円～) 新聞1ヶ月14銭(3,000円) 大工手間賃1日50銭(15,000円～) 教員初任給 5～7円（基本給15万?～）

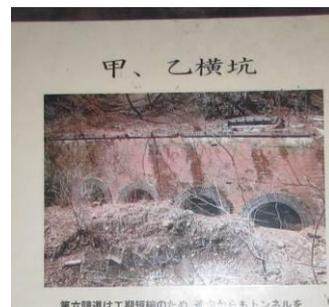
当時は賃金に比べて物価は高かったようです。当時の1円の価値は庶民の感覚で2万円～3万円として、碓氷線建設費は約200万円かかっていますので総額 400億円から600億円 くらいか・・・ちなみに開通前の碓氷馬車鉄道、横川から軽井沢まで40銭(下等)約8,000円 開通後の上野直江津間1円55銭ですので約31,000円 鹿島岩蔵が「碓氷線鉄道開通に五拾円寄付していますので今の100万円?くらいでしょうか。碓氷馬車鉄道を作った矢島八郎は三拾円寄付しています。矢島八郎は高崎駅前の土地を寄付して、碓氷線建設に貢献しています。



側壁のアーチ窓も



横杭も



めがね橋で1班集合写真（めがね橋を入れて撮れる所有りでしたが・・・） 2班：わが鈴木部隊



碓井湖 ここから見ると綺麗でしたが、すぐ側で見ると濁っており行きませんでした。



妙義山の雄姿も綺麗に歓迎してくれました 「とうげの湯駅」で休憩

旧線路を横切ります(温泉好きのS.)



Sさんもここは入っていません)

線路跡を石敷き詰め真っ直ぐな遊歩道、歩き易い。 赤レンガ造り 旧丸山変電所



「旧丸山変電所」を背景に集合写真 一部影になっている所移動をお勧めしましたが、OKですよ！



【碓氷峠鉄道文化むら】ここには入場せず。 妙義山を書き入れた車体は綺麗です



ウォーキング・トレイル終点に到着 15:00 18,400歩 お疲れ様でした



トイレ休憩し15:20バスに乗り帰途につきます。



関越道帰日も練馬 I C 1 7 : 1 0 出て 2 人降車。環八から第三京浜に入る。最初の I C 京浜川崎で降りると自宅はすぐ傍なのだが・・・横浜駅 1 8 : 3 0 到着。バス中でビールとおつまみを戴き、更に ¥ 2 , 0 0 0 のお小遣い入り封筒を戴きました。又内田夫妻のバンド「AGRI GUITAR CLUB」コンサートビデオを見せて戴き、小生も過去 2 回聴いておりますが、各段の上達で、皆さんが良く知っているメロディを聴きながらバスの旅を楽しく過ごさせて戴有難うございました。

世話役の皆さん各担当、色々御配慮戴き有難うございました。1 9 時過ぎ自宅に無事帰り、御風呂上がり美味しく晩酌出来ました。

編集後記：新潟は現役時代よく行っておりますが、長岡山古志は今回初体験でした。震災を起点に再出発し、闘牛、錦鯉を通じて更に団結し、その上美しい山村の棚田、棚池、山並が見下ろせる丘にコスモスや薔薇を植えて見晴らし台として車でも行けるウォーキングコースとし、全国から観光客を集めています。年間を通じて四季折々美しい風景が見られるところです。ビジネスホテルは温泉有りませんでした。一人個室はマイペースで過ごせる良い点もあります。しかし KWC 4 3 名伊香保温泉「きむら」増築でややこしい各階でしたが、洗い場区切付、ヌル湯露天風呂、舞台付宴会場は貸切で時間もたっぷり有り料理も含め最高でした。昨年の熊野古道は台風に追われて後半カットして先行しましたが、今回は日々快晴に向かう好天でした。

幹事役の皆さん事前準備を含めご苦労様でした。小生シルバー連休家内と都心美術館や公園他を散策し、カード残量未確認で、山古志ウォーキング後半撮れず、復興会館「おらたる」で 5 0 0 数枚 1 枚ずつ消去する失敗をしでかしました。この部分の写真なく申し訳ありません。いつものポケ防止用の日記帳「メモと写真」ですが、写真 4 6 5 枚有り、今回は 3 部作とし、全国ウォーキング大会「長岡市高齢者センターしなの」「山古志」をその一 1 全国版 (P 9) とし、「大源太湖遊歩道・長岡製糸場」を KWC 版その一 2 (P 1 0)、「富岡製糸場・アプトの道」を KWC 版その一 3 (P 7) として纏めました。世話役の人は資料で公になっておりますので実名記入で纏めました。

観光地の紹介は戴いた資料に写真付で有りダブリましたが、HP 他から引用しました。

誤記や失礼な記述があるかもしれませんが悪しからずお許しの程。

追記：帰宅して 1 0 月 5 日 (月) ~ 6 日 (火) 家内企画友人 4 人で行く「当間山リゾート」を調べてみると、今回と同じ関越道「塩沢石打 I C」で降りて行くコースで、驚きました。